※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　4　年度　　芸 術　　科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	2　単位	年次	1　年次
使用教科書	「書Ⅰ」(光村出版)						
副教材等	「硬筆レッスン帳」(教育図書)						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

書道は書写での学習を基盤にして、芸術としての書の表現に挑んだり、多彩な書の表現に親しんだりする教科です。古典の臨書学習や創作活動を通して自分らしい書の表現を見つけていきましょう。

2　学習の到達目標

(1)書道の幅広い活動を通して、書の表現の多様性について理解を深めるとともに、書の伝統に基づいて作品を効果的に表現する技能を身に付ける。
(2)書のよさや美しさを感受し、個性豊かに表現することを工夫する。
(3)主体的に創造活動に取り組んで、書の伝統と文化と関わることで心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の多様性について書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づいて作品を効果的に表現する技能を身に付け、表現している。	・書のよさや美しさを感受し、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考えたりしている。	・書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	芸術科書道の相違 国語科書写と	・文字を正しく美しく書くことを目標とした国語科書写と芸術科書道の違いを、用筆・紙面の構成から認識する。 ・書体の変遷を学ぶ。	a:書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 b書の伝統と文化の意味や価値を考えている。 c:主体的に書に興味をもち、学習しようとしている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	自己評価 相互評価
	楷書の学習	・『九成宮醴泉銘』『孔子廟堂碑』『雁塔聖教序』『顔氏家廟碑』『牛橛造像記』という楷書の古典の学習を通じて、楷書の成立・特徴・基本的な用筆について学ぶ。	a:楷書の成立・特徴・基本的な用筆を理解し、表現している。 b: 紙面構成を工夫している。 c:主体的に楷書の古典に興味をもち、そのよさや美しさを感受しようとしている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	自己評価 相互評価
2	行書の学習	・『蘭亭序』『風信帖』という行書の古典の学習を通じて、行書の成立・特徴・抑揚を利かせた用筆について学ぶ。	a:行書の成立・特徴・基本的な用筆を理解し、表現している。 b:紙面構成を工夫している。 c:主体的に行書の古典に興味をもち、そのよさや美しさを感受しようとしている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	自己評価 相互評価
	隷書の学習	・『曹全碑』という隷書の古典の学習を通じて、隷書の成立・特徴・用筆について学ぶ。	a:隷書の成立・特徴・基本的な用筆を理解し、表現している。 b: 紙面構成を工夫している。 c:主体的に隷書の古典に興味をもち、そのよさや美しさを感受しようとしている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	自己評価 相互評価
3	仮名の学習	・『蓬莱切』『高野切第三種』という仮名の古筆の学習を通じて仮名の成立・特徴・単体・連綿・変体仮名・構成について学ぶ。	a:仮名の成立・特徴・基本的な用筆を理解し、表現している。 b:紙面構成を工夫している。 c:主体的に日本で生まれた仮名に興味をもち、書の伝統や文化について理解を深めている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	自己評価 相互評価
	漢字仮名交じりの書の学習	・詩文・書体・用具・用材を選択し、構成や書法を考え、自らの意図に近づけた制作を行う。	a:作品意図を明確にする表現方法を身に付けている。 b:自らの意図に基づくように、詩文・書体・用具・用材を工夫している。 c:完成に至るまでの創作活動について関心をもち、主体的に自らの表現を見つけようとしている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	自己評価 相互評価

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度